1 新かすがい男女共同参画プランについて

今回、新たなプランの作成にあたり、下記に留意して骨格となる体系を組み立てたいと思います。

資料2 は、現行プランの体系を表にしたもので、左から、目標、課題、施策の方向、施策の4つの階層からなり、さらに施策ごとに個々の事業が列挙されることとなります。細かい分類となっているため、施策がそのまま事業になっているものもあります。

資料3 は、現行プランの6つの目標の考え方を受けつぎ、課題と施策の方向をまとめて3つの階層とし、施策も幅広くとらえていますが、重点となる項目を各所に配置しています。

資料4 は、重点となる項目を中心に5つの目標として組み立てを一新し、新プランで行う内容を明確に示しました。

記

留意点

(1) 国の第3次基本計画の強調点

① 女性の活躍による経済社会の活性化

少子高齢化による労働力人口の減少の中、女性を始めとする多様な人材の活用は、我が国の経済社会の活性化に必要不可欠である。

女性がその能力を十分に発揮して経済社会に参画することは、持続的に新たな価値を創造するために不可欠である。

② 男性、子どもにとっての男女共同参画

男女共同参画社会は、多様な生き方を尊重し、全ての人があらゆる場で活躍できる社会であり、男性にとっても暮らしやすい社会である。

男性の視点から捉えることが不可欠であり、男性に対する積極的な働きかけが必要である。

子どもたちが将来を見通した自己形成を図り、幸せに暮らせる社会を目指す観点から、子どもの頃から男女共同の理解を促進することが重要である。

ひとり親家庭や性犯罪の被害を受けている子どもなど支援が必要な子どもが顕在化し、社会全体で支えることが必要である。

③ 様々な困難な状況に置かれている人々への対応

単身世帯やひとり親世帯、出産・育児等での就業の中断や非正規雇用、障害のある人、外国人などは、女性であることで複合的に困難な状況に置かれる場合が少なくない。

家庭や地域における男女共同参画の推進、女性が働きやすい就業構造への改革の推進が不可欠である。

④ 女性に対するあらゆる暴力の根絶

女性に対する暴力は重大な人権侵害であり、防止対策や被害者支援など根絶のための幅広い取組が必要である。

⑤ 地域における身近な男女共同参画の推進

地域力を高めていくためには、女性も男性も誰もが出番と居場所のある地域社会を形成することが重要であり、身近な暮らしの場である地域における様々な取組が不可欠である。

(2) 現行プランの検証

市民意識調査（平成 22 年度）の結果 （※参考資料参照）

家庭内の役割分担

- ・理想は“夫婦とも同じくらい”で、育児・しつけ、看護・介護
- ・現実には、すべての項目で“妻”が受けもっている

女性が職業を持つことについて

- ・「子どもができたら一旦やめ、大きくなったら再び職業を持つ方がよい」が約半数を占めている

ワーク・ライフ・バランスについて

- ・理想では「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
- ・現実には「仕事」を優先している

地域活動について

- ・地域活動への参加は男性より女性が多いが、行事の企画や代表者は男性が行っている

配偶者からの暴力について

- ・女性の約 20%が何らかの暴力を受けた経験がある

市の取組で力を入れること

一般市民

- ・子育て支援の推進と保育サービスの充実
- ・男女共同参画に関する広報・啓発の推進
- ・高齢者や障がい者などの生活安定と自立支援
- ・職場における両立支援の推進

中学生・高校生

- ・子どものころから男女平等について、家庭でも学校でも学習する
- ・家事・育児などを助け合い、女性が仕事を続けられるようにする
- ・男性も家事を理解し参加できるよう実技を学ぶ教室や講習会を開く
- ・企業が男女共同を理解し、父親が会社を休みやすくする

目標値の検証

達成できている事項

- ・小中学校における男女混合名簿の導入
- ・放課後なかよし教室の実施
- ・子どもの居場所の設置
- ・ファミリー・フレンドリー企業の登録事業所数

目標を下回っている事項

- ・意思決定過程での女性の登用率
- ・家事分担で夫婦とも同じくらい行っている（家事、育児）
- ・男女共同参画に関する市の取組の認知度

(3) 新プランの基本的課題

① 男女共同参画社会に向けての意識づくり

意識改革、制度・慣習の見直し
学校、家庭等での平等教育の推進

② あらゆる分野へ男女が参画できる基盤づくり

政策・方針決定過程への女性の参画
職場、地域における男女共同参画の促進
市役所における取組

③ ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた環境づくり

職場における啓発、支援、情報の提供
男性の家庭・地域への参画促進
子育て、介護を支えるサービスの充実

④ 男女の性差の理解と心身の健康のための環境づくり

互いの性を尊重し、性差を理解する環境づくり
生涯を通じた健康づくり・健康保持の支援

⑤ あらゆる暴力を根絶する社会づくり

男女間におけるあらゆる暴力の根絶
DVのある家庭に育つ子どもへの支援